

能・狂言

三鷹

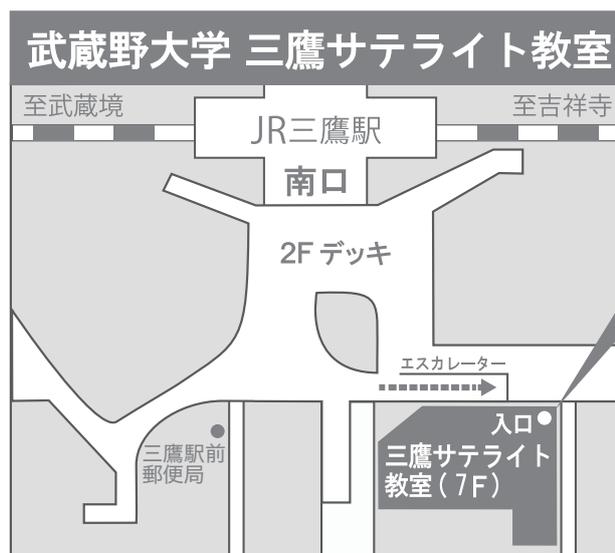
0401026

# 能の見方・味わい方

— 世阿弥の能を読み味わう その2 —

受講料 (振込額)	8,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	火曜日		日程 8月23・30日 9月6・13日	
	時間	13:00～14:30			
	回数	全4回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学客員教授・元本学能楽資料センター長 <b>羽田 昶</b> (はた ひさし)				
	1939年(昭和14)東京生。國學院大學文学部卒。海城高等学校・開成高等学校教諭、東京国立文化財研究所芸能部研究員、室長を経て、2000-2010年(平成12-22)武蔵野女子大学(武蔵野大学)教授。その間、2002年(平成14)より同大学能楽資料センター長。現在、武蔵野大学客員教授、同大学能楽資料センター研究員。専攻は能・狂言を中心とする演劇研究。観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。 著書(共著)に『狂言・鑑賞のために』(1974、保育社)、『能・本説と展開』(1977、桜楓社)、『能の作者と作品』(1987、岩波書店)、『能の囃子事』(1990、音楽之友社)、『能楽大事典』(2012、筑摩書房)、『昭和の能楽 名人列伝』(2017、淡交社)ほか。				
内容	世阿弥は、室町時代の能役者であり、能作者であり、理論家でもあります。なんとと言っても最大の功績は、すぐれた能の作品を多く作ったことです。先行文芸に題材を取りながら、美しい文章で夢幻能、執心物などを編み出しました。そこには中世の美意識と思想が投影していますが、同時に、現代にも通じる普遍的なドラマでもあります。今回は女能4編を読みましたが、今回は男性像のさまざまを取り上げました。				
	① 8月23日:「高砂」—— 長寿と平和を祝福する神能。 ② 8月30日:「清経」—— 入水した武将の霊。残された妻との対話。 ③ 9月6日:「恋重荷」—— 身分と年齢を超えた老人の恋。 ④ 9月13日:「融」—— 王朝貴族の滅びの美学。				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。

《徹底のお願い》

☆マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。